

■ 農作物の生育状況と今後の対策等（12月）

令和7年12月16日
青森県三八農林水産事務所
農業普及振興室

I 土地利用型作物

1 小麦

(1) 生育の状況

11月20日現在の生育観測ほ（八戸市市川町）の生育は、10月下旬から11月中旬にかけて気温が低く推移したため、草丈は12.8cmで平年よりかなり短く、茎数は289本/m²で平年よりかなり少なかった。

病害虫の発生は見られない。

表1 小麦生育観測ほの生育調査結果

（調査地点：八戸市市川町、品種：ネバリゴシ）

	は種日 (月日)	11月20日調査	
		草丈(cm)	茎数(本/m ²)
本年	10月7日	12.8	289
前年	10月9日	14.1	302
平年	9月29日	14.7	437

平年はH26産～R7産の平均値

(2) 今後の対策等

幼穂形成期（3月下旬～4月上旬）に追肥を行う。

II 野菜

1 ながいも

(1) 作業の状況等

ア 成いもの秋掘作業は、11月20日頃から本格化している。

本年は、収穫が始まってから断続的に降雨があったため作業が進まず、12月5日現在の八戸農協の入庫数量は20kg ながいもコンテナ換算で2.9万ケース（過去5か年平均比58%）となっている。

イ 県生育観測ほ（五戸町）の総収量は、5,032kg/10a（平年比115%）と、平年を上回り、形状は細長いものの、A・B品率は76.6%（平年差-0.2ポイント）でほぼ平年並となった。

表2 ながいも生育観測ほの収量調査結果

（調査地点：五戸町上市川、種子の系統：庄司系）

年度	植付期 (月日)	収穫期 (月日)	収 穫 時												
			収量 (kg/10a)	全長 (cm)	いも長 (cm)	いも径 (mm)	全重 (g)	品質別割合			A・B品の規格別割合				
								A	B	C	4L	3L	2L	L	M
								(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
本年 (平年比)	5/14 遅8日	11/14 早2日	5,032 115%	102.3 113%	80.8 126%	51.9 90%	1,375 112%	30.9 -23	45.7 +22	3.4 -10	61.2 +20	13.5 -3	1.9 -10	0.0 -5	0.0 -1
平年	5/6	11/16	4,363	90.8	63.9	57.5	1,224	53.5	23.3	13.6	41.6	16.7	12.3	4.9	1.3
前年	5/20	11/20	3,609	89.4	60.7	50.1	1,001	55.2	29.1	0.0	14.3	30.3	37.6	17.9	0.0

注) 平年：平成27～令和6年の10か年平均

(2) 今後の対策等

ア いもの凍害を防ぐため、掘り取ってすぐコンテナに収納する。

イ 湿害が心配されるほ場では、年内収穫に努める。

2 にんにく

(1) 生育の状況

県生育観測ほの11月20日現在の生育は、10月下旬以降の気温が平年より低めに推移し萌芽が遅れたことから、草丈9.4cm（平年比51%）、生葉数1.8枚（平年比56%）と平年を大幅に下回っている。

(2) 今後の対策等

滞水しやすいほ場では、明きよを掘るなど、越冬後に向けた排水対策を行う。

3 いちご

(1) 生育の状況

ア とちおとめ

草高が平年を下回っているほかは平年並～上回っている。チップバーンが見られるが、病害虫の発生は認められなかった。調査ほでは現在、頂果房の収穫中となっている。

イ よつぼし

いずれも平年を上回り、順調に推移している。病害虫はコナジラミ成虫の発生が僅かに認められた。調査ほでは11月末から出荷が始まっている。

表3 いちご生育観測ほの生育調査結果（12月10日調査）

品種名	年度	定植	草高 (cm)	葉柄長 (cm)	小葉長 (cm)	小葉幅 (cm)
とちおとめ	本年	8月26日	18.5	14.9	10.9	8.9
	(平年比)	(1日遅い)	(82%)	(103%)	(110%)	(107%)
	平年	8月25日	22.5	14.5	9.9	8.3
	前年	9月3日	15.7	9.4	8.9	7.8
よつぼし	本年	9月16日	28.1	20.0	10.5	7.7
	(平年比)	(1日早い)	(121%)	(124%)	(115%)	(104%)
	平年	9月17日	23.3	16.1	9.1	7.4
	前年	9月25日	17.0	10.5	8.2	6.5

注) 平年は、とちおとめが前10か年、よつぼしが前6か年の平均値。

(2) 今後の対策等

ア 適正に温度管理をする。

イ うどんこ病などの病害虫防除を徹底する。